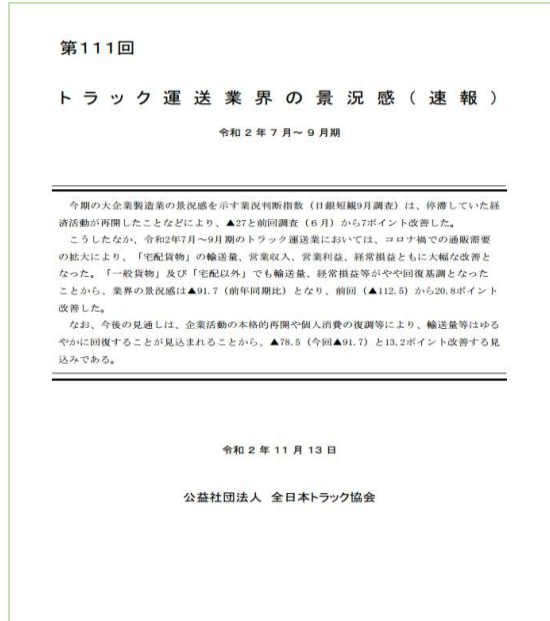


【第111回トラック運送業界の景況感(速報)からの気づき】

私たち運送業を支えて頂いている(公益社団法人)全日本トラック協会より発表されている「第111回トラック運送業界の景況感(速報) 令和2年11月13日」から(引用文献=1ページ目に掲載)下記グラフを参考にさせて頂きました。その中で、気づきがありましたので、ご紹介いたしたく存じます。

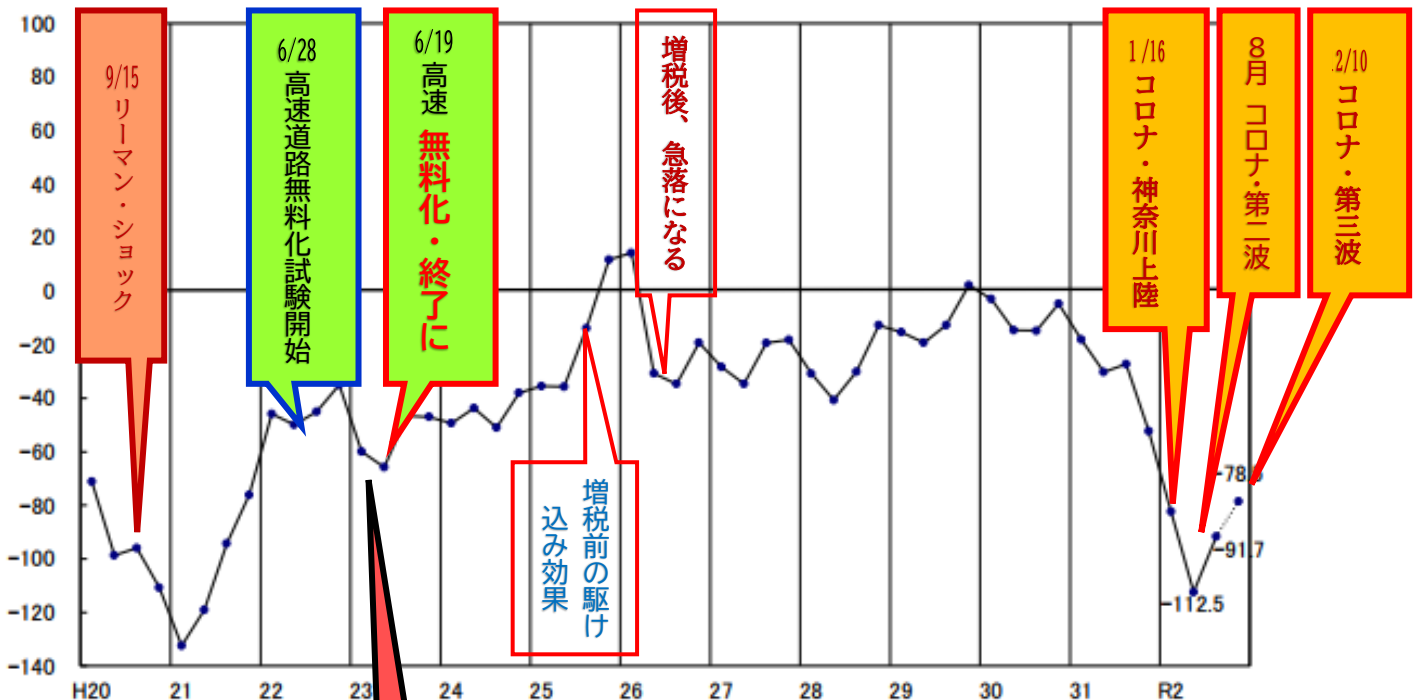


下記のグラフですが、トラック運送業界の平成20年(2008年)~2020年末までの景況感についてです。

景況感グラフには、景気を左右させた時代の出来事を注釈にしました。

*** 無料化実施された時、無料化凍結された当時よりも、今の、景況感の冷込みの方がキツイ事が窺えます。**

トラック運送業界の景況感の推移(H20以降)



引用文献 全日本トラック協会

3/11 東日本大震災

全般的に景況感がマイナスが続く。リーマンショック後は最悪の景況感底突きに、経済立直しは政権交代と高速料金無料化が後押ししていた。しかし、その翌年、東日本大震災があり、復興費に無料化の為の予算は廻された。しかし、その後も、無料化は凍結されたままである…
 コロナ禍不況にある今だからこそ、解凍し、高速道路無料化にするべきではないでしょうか！